

境界確定図 2

【確定方法】

申請地(246-1、246-4、246-8)は昭和45年、48年、54年、56年と分筆されており、法務局にその地積測量図が備え付けられている。

道路(側溝、法面、擁壁等)、ブロック塀、コンクリート構造物等現況を測量して地積測量図と照合した結果は以下の通りである(申請地3筆は合筆する予定なので、一体的なものとして測量した)。

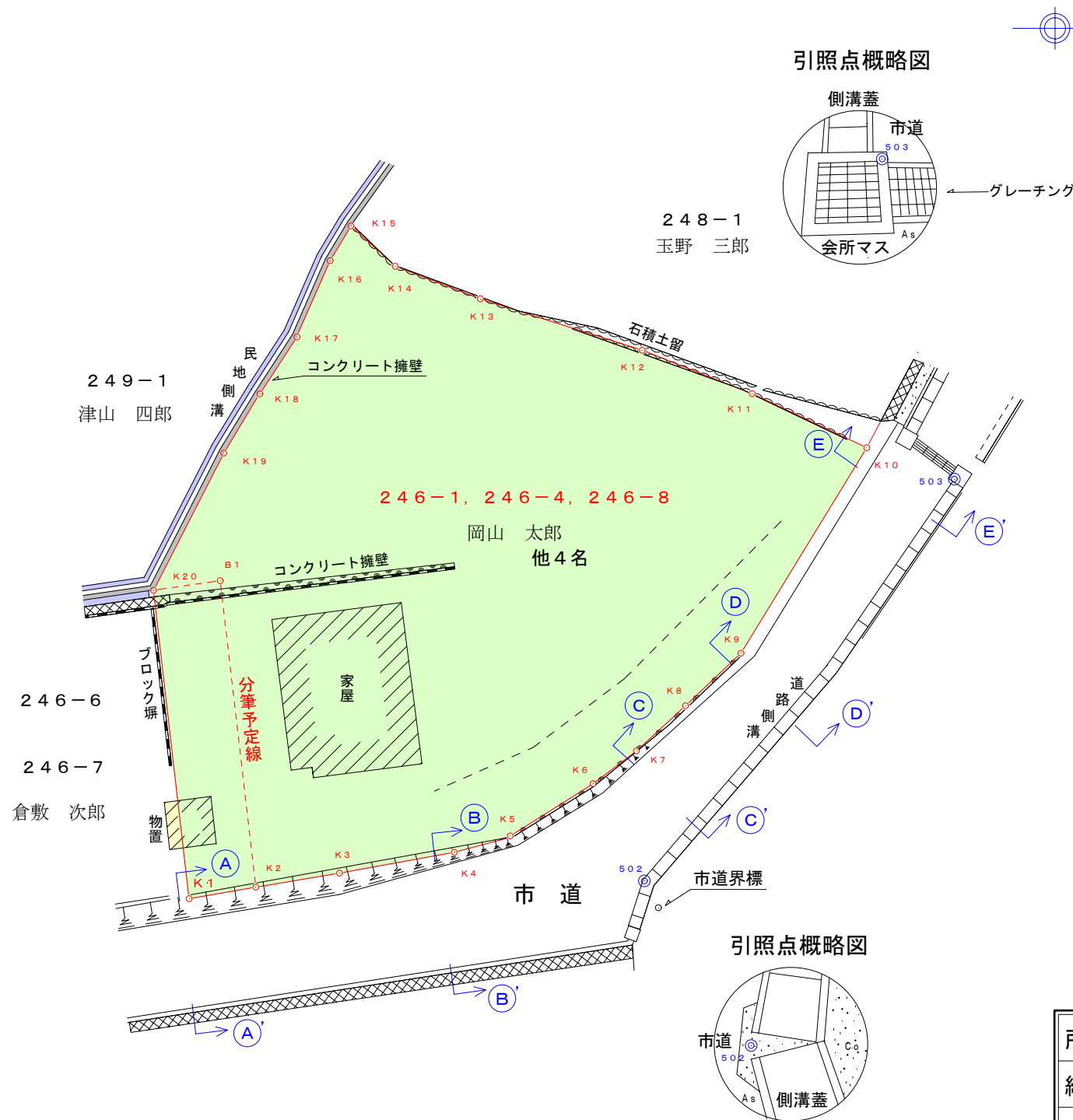
- 昭和45年の測量図の246-1は求積部分外(残地)であるが、道路境界、249-1との境界とも合致する。248-1との境界は合致しない。
- 隣地246-6及び246-5は昭和45、48、54年の測量図どれもが249(現在249-1)との境界が相違する。道路境界は現況法下でほぼ合致する。また246-5の南及び北側構造物(擁壁、ブロック塀)は合致する。

したがって、市道及び246-5と246-6(246-7も含め)との境界を基準に地積測量図の復元を行った。

249-1との境界は平成7年ごろ渡邊氏が土地購入時に立会・境界確認済みになっており、境界標識(金属釘)も設置されているので、コンクリート擁壁外面とした。

【境界確定事項】

- 市道 境界点403、106、105は石積の根元(法面に埋まっている、断面Bを参照)。境界点87、86、85、84、104は道路コンクリート擁壁の根元。境界点92は104と隣地248-1の道路擁壁下側の線を結んだ直線と248-1との隣地境の石積根元の延長との交点
- 246-6、246-7 ブロック塀北面から約9cm北側(246-5との境界ブロックから地積測量図の寸法をとった、確定図2参照)
- 248-1 境界点92から109、93は西崎氏所有土地の石積土留めの下側。境界点95、96、98は久山氏の石積土留めの下側(地積測量図とかなり相違するが、現況の方がより公図に近い形状となっている、確定図2参照)
- 249-1 コンクリート擁壁外面



立会人一覧表

	地番	所有者	立会人
申請地	246-1	岡山 太郎 他4名	岡山 太郎
	246-4		
	246-8		
隣接地	246-6	倉敷 次郎	倉敷 次郎
	246-7		
	248-1	玉野 三郎	養子 玉野 守
	249-1	津山 四郎	津山 四郎
公共用地		所管官公署	立会担当者
市道	246-3	岡山市〇〇支所 産業建設課	甲田、乙倍、丙屋
	247-2		

2002. 12. 25 立会

所在地	岡山市〇〇字△△ 246-1、-4、-8		
縮尺	1 / 250	図面番号	
測量日	平成14年12月27日		
作製日	平成15年1月3日		
作製者	岡山市浜一丁目7番30-10号 土地家屋調査士 畠 中秋夫		